



本村小だより

令和6年6月3日

6月号

東久留米市立本村小学校

校長 永瀬 功二

<http://www.higashikurume-school01.jp/~hon-e/>

Tel 042-474-0404

Fax 042-472-7992

地域への発信に Challenge !

副校長 佐藤 有紀

5月25日(土)に「本村赤白オリンピック」が行われました。5年ぶりに全校児童が校庭に集っての開会式では、運動会の歌「ゴーゴーゴー」や応援合戦の音が、赤白どちらからも高らかに響いてきました。

低・中・高学年の時間帯に分かれて演技・競技をする中、6年生は係活動も行っていました。応援団をはじめ、審判や放送、採点、用具、低学年のお世話など、一人一人が自ら考え、活動していました。「40メートル走の後、赤白の人数を数えやすいように線を引いておいた方がいいと思う。」「最後の得点発表をどんなふうに伝えたら、盛り上がるかな。」

6年生は最高学年になってから、様々な場面で学校を引っ張っています。昨年まではやや登校が遅かった子が、1年生よりも早く校舎に入りお世話をしたり、休み時間になると同学年の友達とサッカーをしていた子が、1年生を教室まで迎えに行き、両手に連れて校庭を走ったり、そんな行動一つ一つの思いやりや責任感が、運動会に表れていました。

一方で5月は、子供たちが自分たちの生活はたくさんの方に支えられていることを実感する場面が多くありました。

13日(月)の全校朝会には、登下校を見守ってくださっている「野火止会」や「本村クラブ」などの地域の方が来てくださり、「皆さんが元気に安全に通学できるように頑張っています。」とお話をしてくださいました。暑い日も雨の日も、中には20年以上に渡り立ってくださっている方もいると知り、「感謝の気持ちを登下校時の挨拶で表したい」という気持ちが高まりました。

また、本村小ではこれまで、豊かな自然環境を生かして、地域の方にご協力いただきながら、様々な学習や体験活動を行ってきました。毎年落合川の活動でお世話になっている「東久留米 川クラブ」の方から、「子供たちも大人と一緒に黒目川の清掃をやりませんか？」と声をかけていただき、12日(日)に黒目川の清掃活動を行いました。30名の子供たちと保護者の方、地域の店舗「サミットストア」や川クラブの方が一緒に河原に下り、「こんな所にもごみがあるんだね。」「ごみが袋にいっぱいになると嬉しくなってくる。」など、様々な発見をしながら、地域の環境への関心を高めました。

6月8日(土)9日(日)には、市役所で「東久留米環境フェスティバル」が行われます。本村小からも、4年生の川の学習と先日の川清掃の取組がパネル展示されます。これからも地域の環境をよくするために、子供たちからの発信やできることでの貢献に Challenge していきます。



登下校見守りの皆さん



黒目川の清掃